



音楽集会を楽しみました♪

11月16日(木)に音楽集会をしました。新型コロナウイルス感染症の影響で、3年間、音楽集会を行うことができませんでした。運動会、各種総体の壮行会で集まって歌を歌ったり、声を出したりすることはありましたが、純粹に音楽を楽しむための集会は、今年度初めて実施することができました。

今回の音楽集会の目的の一つは、6年生が連合音楽会で発表する合唱奏を、下学年の子どもたちに披露することです。6年生は、「BRAVO!!松山」をテーマに、私たちが住んでいる松山をテーマにした音楽を発表しました。高学年らしい歌声を体育館一杯に響かせていました。下学年の子どもたちは、6年生の音楽を真剣に聴き、さすが6年生、という感想をもっていました。6年生が、楽器を演奏したりダンスをしたりする場面もありました。少し照れくさそうにダンスを踊る子もいましたが、個人的にはそれもかわいらしく見えました。



もう一つの目的は、音楽やダンスを通して私たちが生まれたり、育ったりしている愛媛、松山、そして潮見を好きになってほしいということです。「道後 BON ダンス(道後湯玉音頭)」、「しおみふるさと音頭」、「よーいドン!(ねんりんピックの歌とダンス)」を、子どもたちは、とても楽しそうに歌い、踊りました。「しおみふるさと音頭」には、潮見地区の史跡や特産品などが登場します。正に「ふるさとの歌と踊り」と言ってもよいでしょう。日頃から口ずさんだり、体を動かしたりすることで、ふるさとを愛する子どもたちが育っていくのだと信じています。



今回は、愛媛県内を拠点にして、各地で活動をされている歌手のRICO神島さんと「道後 BON ダンス」の作詞・作曲者の山中カメウさんをお招きしました。子どもたちは、作詞・作曲をした方を前にしながら、RICO神島さんの生の歌声で「道後 BON ダンス」を踊ることができるといって大変貴重な経験をしました。神島さんも山中さんも、潮見っ子の歌声やダンスの様子に大変感動され、「元気を子どもたちからもらいました。」とお礼の言葉もいただきました。



神島さんは、コロナで歌うことができず、この3年間はかなり辛い思いをされてきたそうです。山中さんは、もともと東京の方でしたが、松山のよさにひかれて現在は松山に住んで活動をされているそうです。そういったこともあったので、今回の潮見小学校の音楽集会は、お二人にとっても心に残るものになったようです。

「集い、対話し、高め合う学校」ということを年度当初にお伝えしましたが、今回の音楽集会では、それを具体化することができたのではないかと思います。